

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月20日

大分県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県豊後大野市三重町市場847番地
氏 名 株式会社 川 邊 組
代表取締役 阿部 清治
電話番号 0974-22-0123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社川邊組
事業場の所在地	大分県豊後大野市三重町市場847番地
計画期間	平成30年6月1日～平成31年5月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	386,696(千円)
③従業員数	12人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら→中間処理業者に委託→破碎し再資源化 アスファルトがら→中間処理業者に委託→破碎し再資源化 木くず →中間処理業者に委託→破碎し再資源化 建設混合廃棄物 →中間処理業者に委託→破碎、選別し再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社

```

graph TD
    A[代表取締役] --> B[常務取締役  
廃棄物管理統括責任者]
    B --> C[取締役  
廃棄物管理担当部長]
    C --> D[工務部  
廃棄物管理担当所長]
    C --> E[総務部]
            
```

<統括責任者>

- ・廃棄物処理方針の策定
- ・本社の廃棄物処理に関する各種事項の決定承認
- ・現場での処理に関する各種事項の決定承認

<担当部長>

- ・本社での廃棄物処理計画の作成
- ・本社での廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・監督官庁への各種報告
- ・社員、関連会社に対する教育・啓発

<担当所長>

- ・現場での廃棄物処理計画の作成
- ・現場での廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・現場での処理業者、再生利用業者の調査、選定及び監理
- ・現場での委託契約の締結
- ・現場でのマニフェストの交付、管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず	建設混合廃棄物
	排 出 量	881.31 t	3110.21 t	10.40 t	1.00 t
(これまでに実施した取組) ・乾燥による水分除去や、砕石や土等の混入を防ぎ分別を丁寧に行うことで極力軽量化して搬出する。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず	建設混合廃棄物
	排 出 量	1000 t	3000 t	200 t	10 t
(今後実施する予定の取組) ・現状に同じ。					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートがらは有筋、無筋に分別。木くずは枝葉、根株に分別。 ・分別が困難な場合は処理業者に選別を委託する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状に同じ。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（平成29年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t			
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t			
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。				
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（平成29年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	881.31 t	3110.21 t	10.40 t	1.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	881.31 t	3110.21 t	10.40 t	1.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・再生アスファルトを使用する。 ・再生砕石を利用する。				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	木くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	1000 t	3000 t	200 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1000 t	3000 t	200 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状に同じ。				
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。